

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸第一養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	・微生物とその利用（発酵の利用）		
	単元(題材)の目標	・様々な微生物の存在、生態系における微生物の役割、微生物と人間生活との関わりなどについて観察、実験などを通して理解する。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 ・脳性まひで半身に不自由さがあるが、左手で書字が可能である。 ・ADHDのある生徒である。 ・タブレットなど ICT 機器への興味・関心が高い。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 i P a d		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Google Classroom Google Jamboard	アプリマーク  	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・ICT機器を目の前で活用することにより、集中力を高めて授業に参加する。 ・アプリケーションを活用することにより、成果を i P a d に保存し、振り返る。 ・アプリケーションに興味をもち、積極的に授業に取り組む。		
活用の状況と支援	※ICT活用場面と行った支援について記入する。 ・課題をリモート配布する。生徒はログインして課題を確認する。 ・Jamboard でカビ、酵母、細菌のはたらきを利用した食品を3つに分類するための枠を作成する。 ・パン、甘酒、醤油など、様々な発酵食品を思い浮かべ、付箋機能を活用して食品を打ち込み、分類したエリアに貼り付ける。イラストで貼り付けることも可能。 ・教師も生徒と同時にリモート参加し、食品を提案して貼り付ける。			